

## 会議録

会議の名称	中野市市民会館整備方針（案）に係る市民説明会
日時	令和2年2月18日（火） 午後6時30分～午後7時57分
会場	中野市市民会館 41 会議室
出席者等	<ul style="list-style-type: none"><li>・参加者 36 人</li><li>・市出席 11 人 市長、副市長、総務部長、くらしと文化部長、政策情報課長、財政課長、文化スポーツ振興課長、財政課長補佐兼財政係長、文化スポーツ振興課長補佐兼文化振興係長、文化スポーツ振興課施設管理係長、文化スポーツ振興課文化振興係担当</li><li>・中野市市民会館劣化状況等調査業務受託者 1 人</li></ul>
次第	<ol style="list-style-type: none"><li>1 開会</li><li>2 あいさつ</li><li>3 中野市市民会館整備方針(案)について</li><li>4 質疑</li><li>5 閉会</li></ol>
発言内容等	別紙のとおり

(別紙)

## 中野市市民会館整備方針(案)に係る市民説明会 会議録

日時 令和2年2月18日(火)  
午後6時30分～午後7時57分  
会場 中野市市民会館41号会議室

### 1 開会

### 2 あいさつ

(市長)

皆さん、こんばんわ

中野市市民会館整備方針案に係る市民説明会にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

皆様方には、お仕事を終えられてお疲れのところ、説明会にご出席いただき、厚くお礼申し上げます。

市民会館につきましては、「文化の香る元気なまち」推進のため必要な施設として、旧中野高校跡地に新築により整備することとしておりますが、現在は、市の財政状況から、当面の間、建設を延期しているところであります。

一方、現市民会館につきましては、本年度、建設から50年を迎え、建物の劣化状況などについて調査を実施しましたところ、耐震不足の部分を補強することで、今後も30年以上の使用を前提とした長寿命化を図ることは可能であることがわかりました。

これを受けて市民会館の整備について検討し、新市民会館を建設することは困難であると判断し、現市民会館を利用される皆様の安全・安心を早急に確保し、利便性の向上を図る必要があることから、現市民会館を大規模改修により長寿命化する「リノベーション」により整備を行うこととし、本日説明する整備方針案を策定いたしました。

この整備方針案は、リノベーションにより整備することとした理由のほか、新たな機能や使い方などについてまとめたものであります。

リノベーションに当たりましては、音楽都市「中野市」にふさわしく、より良い市民会館となるよう進めて参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます、ごあいさついたします。

### 3 中野市市民会館整備方針(案)について

- ・文化スポーツ振興課長から資料に基づき説明

#### 4 質疑応答

(市民A)

丁寧なご説明ありがとうございました。リノベーションということについて、とてもよくわかりまして、私音楽をやっております、〇〇と申します。「ここで」が「ここで」に変わるのがとても素晴らしいと思ったんですけども、音楽をやる立場からすると、何が大事かというと、よく響くホール、音響的に音楽が美しく聞こえるホール、音響がきちんとしているということが一番大事なかと考えます。

プロの音響の設計をする方たちに、今後30年のことを考えて、今できる最新のことをやっていただかないと「中野じゃできないよ」といつかなってしまうと思うんですね。なのでそこを一番に考える、もちろん安全も大事ですけども、お願いしたいなと思います。

もう一つ質問なんですけれども、意見を言う場みたいなことを設けるとおっしゃってくださったと思うんですが、検討委員会とかそんなようなものを作るとかする予定はこれからあるのでしょうか。

(文化スポーツ振興課長)

ありがとうございました。音響設備というお話をいただきましたので、設計にあたりましては当然、音響設備の専門の方をお願いをしまして進めてまいりたいと考えております。

また、意見の場ということで話をいただきました。今後設計を進める段階で、ある程度骨格が出来上がった場面で、市民の方にご説明をしながらご意見をいただく場を設けてまいりたいと考えております。

市民の方による検討委員会のような組織につきましては、今後研究して参りたいと考えておりますが、いずれにしましても、市民の方へは設計の段階でまたご説明をし、ご意見をいただく場を設けてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

(市民B)

〇〇です。

設計図がなく金額がはじき出されておるんですが、減るってことはなく、多くなるっていう予測ですか。

(文化スポーツ振興課長)

リノベーションの事業費は21億円ということで、今回、劣化状況調査をコンサルタントに委託しております。その中で、こういった形にしたらこの位の金額になってというような積算をしております、21億円の事業費で進めて参りたいと考えております。

(市民B)

耐震補強すれば今 80 年有効となっているんですが、今 30 年を目指してやっておられるようですが、30 年であれば構造的な部分は直さなくてももつということですよ。

(文化スポーツ振興課長)

先ほどご説明申し上げましたが、耐震診断をしております。昭和 44 年建築の市民会館ですけれども、昭和 56 年に建築基準法の改正がございました。今の現行法ですと構造的に耐震が不足しているという結果になってございます。ですので、これから 30 年以上、リノベーションをして利用するというのであれば、現行法の耐震基準に見合った耐震補強も当然必要になってくるということで、皆様の利用されている安全・安心を確保して参りたいと今考えております。

(市民B)

耐震補強したり構造的に補強すれば、これから先 80 年もつのであるから、80 年を目安に建物を作られたらどうですか。30 年じゃなくて。50 年たっているのはわかります。今、30 年を目指しているなら構造的な部分をやらないで意匠だけやればもっと金額を抑えられるんじゃないですか。

そうじゃなくてどうしても、危ないから耐震性能を満たした建物を作りたいとなれば、今の 80 年を目安で作るのが当然じゃないですか。

それと心配するのは、これだけの駐車場スペースが小さいところで、どういう風に活用するのかちょっと心配です。立派な建物ができても、まず人を集める施設がないので、どのようにするのか。そのへんもちょっと聞きたいです。

(文化スポーツ振興課長)

ありがとうございます。駐車場の現在の台数ですが、現市民会館は約 40 台程度となります。また、隣接する新庁舎の台数的には約 100 台程度でございます。それと、これまでも市民会館で催し物やコンサートなどする場合、ちょっと駐車場が少ないということで、中央公民館にも約 90 台程度あり、近隣にはまだ公共施設等の駐車スペースがあります。

実際、去年、信州なかの音楽祭のオペラ「中山晋平物語」の時には、ホールが満席であったわけなんですけど、この時は、周辺の駐車場ですべての方を集客できたという現状もございます。駐車場についてはリノベーションであっても駐車場の台数を減らすのではなくて、今ある台数を確保し、多少でも台数を増やせるように考慮しながら計画して参りたいと考えております。どうぞよろしくお願いたします。

(市民C)

〇〇です。

先ほどの方の意見と共通するんですけれども、予算が21億円という概算ですが、私仕事柄いろんなホールで仕事をしたり見学しておりますが、お金をかけたのに評判が悪いホールっていういろいろあるんですよ。なのでそういうことも参考に、もし考えていただけたら。

近辺だと、飯山のなちゅらだとかメセナとかは使用料が安いんですよね。なので使いやすいってこともあるし、長野市若里ホールは市民ホールなのに使用料が高いんです。そんなこともやっぱり「ここでやりたい」ってことであれば、企画も大事なんですけれども使用料とかも考慮していただいたり、評判の悪いホールもチェックしていただくと、予算がこれだけだったらこれしかできませんでしたっていうのを、柳原でもそうだったんですが、そのような状態で結局すごい不満が多いということもありますので参考にお願いします。

(くらしと文化部長)

ありがとうございます。ご要望等伺いました。また、近隣の状況等も伺いまして、21億円の中で使いやすい、いいホールにしていきたいと考えています。

(市民D)

〇〇といたしますけれどもよろしくお願いします。

私、美術をやっているんですけれども、特に現代美術なんですけど、交流スペースで芸術作品の展示ギャラリーみたいなもの。これはギャラリーもできて、ほかの展示会では違うものに変えるとかいうことで考えている。そうでなくてギャラリーだけで完全に作ってしまうのか。私、現代美術やってるもので、現代美術なんかに関して展示できるような施設にしてほしい。

それと、美術を飾る展示室なんて無いですね。美術館はできないと思うんですけれども、常設できるような施設みたいなものも考えていただければと思います。

(文化スポーツ振興課長)

ありがとうございます。いま、いろいろなお話をいただきました。

多目的、多機能に使えるホールにつきましては、音楽だけではなくて美術関係であれば個展なども開けるような、また、大きな部屋を少しパーテーションで小さくするなど、いろんな機能で使えるようなものを考えて参りたいと思っております。

交流スペースの部分は、通常、皆さんが誰もが交流できるようなスペースにできればと考えております。そんな中でギャラリーの様な形の中で、例えばピクチャーレールというようなものもございますし、壁の仕様などいろいろなものもございまして、設計を進めていく中で検討して参りたいと思っております。

(市民E)

〇〇といいます。

中野高校跡地に市民会館が来るということで、東町周辺の皆さんは非常に期待していたわけですが、ここでひっくり返されて、現在の市民会館でということで進められるそうであります。そこで、2、3点ご要望を申し上げたいのでお願いします。

まず、耐震補強の方法ですが、今までの建物あちこち見ますと、非常に見栄えが悪い筋交いが作られているケースが多いわけですが、あのような格好をされると、市民会館という建物にはあわないので、そういうところを踏まえて耐震補強をしていただきたいと思います。後30年を目安にということでありますが、そのころになりまた作り替えようということになった場合に、また財源の問題も出てくるのだと思いますけれども、先ほども皆さんが言われたように80年もたせてくれるんなら、そういうことも考えて作っていただきたいと思います。

それから、勤労者福祉センターが無くなりまして、1階にちょっとした運動のできる施設があったわけですが、そういうものもできるところを作っていて、例えば保育園の方が、ちょっとここでなんかやるとか、そういうものに使えるようにしていただきたいと思います。

それから、財源の確保ということで、長野県民文化会館にホクトさんの広告塔があるとありますが、今回新しくしたところに広告塔を建てていただいて財源にしてもらえればいいんじゃないかと思えます。

それから長い目で見ますと、駐車場のスペースが少ないということで、3階ぐらいの立体駐車場を作るのもいいかと思えます。財源の確保が難しいかもしれませんが、考えていただきたいと思えます。

それから、ホールの中での避難経路。これから障がい者や老人の方など参加するケースが多くなるんですけど、避難経路は2方向だけじゃなくて4方向とか6方向とかいうことを検討していただきたいと思えます。

旧中野高校跡地にあります残土を、早めに処分していただいて、活用方法を検討していただきたいと思えます。大きな要望なんですけれども、今ある残土のところに、ちょっとした小さい市民会館でもいいから作ってもらえればという大きな希望でございますのでよろしくをお願いします。

(くらしと文化部長)

ありがとうございます。様々なまご意見・ご要望をいただきました。見映えの問題でありますとか、設計の中で十分検討して参りたいと思えます。

また、30年以上というように申し上げましたが、なるべく長い間使えるよう検討し、また財源ではネーミングライツなども検討していきたいと考えています。様々なご要望として承りたいと思えます。

(市民F)

こんばんは。私はボイスサークルという合唱をやっております〇〇と申します。歌を歌いたい、市民会館で歌いたい、という思いで今日はまいりました。

先ほど多目的ホールということで美術作品も飾りたいというお話ができていますが、限られた予算の中でそんなことできるのかなと思ひまして。

音響の良い市民会館にする、入りやすいトイレにするなどは私も賛成しますが、多目的ホールで美術の展示もということは、ちょっと違うんじゃないかなと思ひました。

市民会館というと、歌を歌う大ホールをイメージしたんですが、会議室棟も変わるのかって。素人で申し訳ないのですが、会議室棟を多目的といえどもお金がかかりそうなので、今までどおり歌を歌いに来た時に更衣室みたいになっていたり、あとでちょっとお茶会やったりする程度でいいんじゃないかなと私は思ひます。

(文化スポーツ振興課長)

ありがとうございます。今、ご意見をいただいた部分、今日は、もやっとした感じのご説明になっておりますので、もう少し骨格や図面を作りこんできたときに、皆様にご説明する場面を作って参りたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

(市民G)

合唱をやっている〇〇と申します。一つ質問させていただきます。

まず、5年ぐらい前にオペラ「こうもり」を公演させていただいたんですが、その時に大変苦勞したのは照明です。大変予算がかかるものですから、あの時苦勞したのは、東北から舞台屋さんを連れてきて、反響板が2枚、そこに単管を2列たらしまして、そこに照明器具をぶら下げて現状の倍の照明が必要だと、そんな設備をする。それからステージの横から2つに割れた照明を両側に2箇所設置した。オペラをやる上で、照明が非常に大事な設備になると思います。あの時は確か1200万円位の予算をかけてオペラを公演した実績があるんですが、いい音楽をやるためには照明にも、お客さんのためにも、必要だということ認識していますので、設計のほうに反映していただければと思います。

それから、本格的なオペラをやるにはオーケストラピットにオーケストラが入り、お客さんにはオーケストラは見え、オーケストラの伴奏でオペラを演じます。そういった設計は難しいこともありますので、そんな要素と申しますか。以前オペラの公演した時には、前の席200席を全部取り外し、そこにオーケストラ約50人が演奏をしたという過去もあるのですが、その200席を外して会議室にもついで

って、終わったらまたそれを運んだということなのですが、簡単に椅子が外せてオーケストラピット並みの効果が出るような設計を考慮していただければありがたいと思っています。ひとつよろしくお願ひしたいと思います。

(文化スポーツ振興課長)

大変貴重なご意見ありがとうございます。いただいたご意見ご要望は、設計の中で検討・検証して参りたいと考えております。よろしくどうぞお願ひいたします。

(市民H)

〇〇と申します。

私は合唱の指導でやっておりまして、演奏会を市民会館でやることがあります。音楽的なことに関しては、皆さんおっしゃったので復唱はしません。言いたいことはたくさんあるんですけども、今回は2点について答えていただきたい。

1点は、新聞紙上を見ると施設管理員を置くという内容のものが出ていました。今日の資料を見ると、市の直営と書いてあるのですけれども、市長がいつもおっしゃっていたんですけど、音楽のまちづくりという観点からすると、施設管理員を入れて、プロの人たちが市民会館の運営、あるいは我々の希望を要約していく、そういうことも必要なんじゃないかなど。そういうことで、市の直営になったということについて答えていただきたいなと思います。

それからもう1点ですが、パブリックコメントでは意見の締め切りを26日にしていますよね。その後、どうゆう風な予定なのか知りたいです。私は旧中野高校の利活用の検討委員会の一員でした。1回だけの会議でしたけど非常にいい内容の話が出たんですけど、それが途中で消えちゃったんですけど、せつかくこうゆう場があって意見の集約がされた後には、必ず有効な検討委員会を設けていただきたい。その構成は、市民会館を利用している団体、あるいは一般の中野市民でリノベーションに対する希望や特に興味のある方たちの参加を含めた検討委員会を、ぜひ立ち上げていただきたいと思っています。以上です。

(くらしと文化部長)

ありがとうございます。

1点目の施設管理員と市直営の話でございますけれども、市民会館の施設は特殊でして、専門的な方が必要かなと思っていますので、22ページに書いてあります指定管理者といった形の管理運営も検討して参りたいと思います。

資料に市直営と書いてございますのは、現状、中野市の市民会館と飯山市のなちゅらは市の直営、長野市の芸術館と須坂市の文化会館は、それぞれ財団に指定管理者が管理運営しているといったものであります。この先この様にするとしたことではなく、現状を書いたものでございますので、ご理解いただきたいと思っています。

また、26日までのパブリックコメントについては、今日と明日の市民説明会でも様々なご意見を踏まえた中で、3月議会に設計に係る予算等をお願いしたいと思っておりますので、議会でお認めいただきましたら設計を進め、具体的な絵が描けたところで皆さんのご意見を伺いたいと考えております。

(市民I)

〇〇と申します。

このギャラリーというか交流スペースについてお願いをしたいんですけど、今まで市でたくさんの芸術作品などを寄附をしていただいたり、それから特別な展示会があったときに購入したりしてたくさん管理されていると思うんですけど、そういうものを一度見ると後はすごく減って、今何百点ほどの数の作品がいっぱい眠っていると思うんです。このいいスペースを作るならば、年間を通しての展示室、1回だけじゃなくて、5年ペースとかそういう中で2回、3回と市民の人に見てもらったりするには、年間を通しての展示室が必要だと思うので、ぜひ今回の改修の中で検討していただきたい。

(くらしと文化部長)

ありがとうございました。先ほど美術品のお話がありましたけれども、ご意見として伺いまして今後検討して参りたいと思います。

(市民J)

先ほどは説明ありがとうございました。〇〇です。

私は一点についてお聞きしたいんですが、18ページに多目的ホールの新設とあるんですけども、これ図面見ると大体の形とか位置はわかるんですけども、具体的に大きさがイメージできるように具体的に説明をお願いいたします。

(文化スポーツ振興課長)

具体的なイメージとして一番わかりやすい空間としては、面積的には、今皆さんがいるこの会場ぐらいのイメージです。多機能なホールと考えておりますので、天井の高さはできれば2階分ぐらい、この倍ぐらいの天井高を確保ができるような形にできないかなというような構想でおります。容積はこの倍ぐらいになりますが、平土間でステージがあったり、客席があったりというようなイメージであります。

(市民K)

〇〇といいます、よろしく申し上げます。

何点かありまして5ページですけども、耐震診断を3回やっているんですけど、なぜ3回やったのかお聞きしたい。

あと、枠でくくってある部分なんですけど、建物全体では倒壊しないって書いてあるんですが、その下の Is 値ってところに 0.3 未満は倒壊する危険性が高いって書いてあるんですけど、矛盾している気がするので説明してもらいたいです。

あと 12 ページなんですけども、新築とリノベーションで費用比較されているんですけど、下段のカッコで実際かかる金額が書いてありまして、新築が 1 億 100 万円、リノベーションは 9 千 8 百万円で 300 万円しか変わらない、そう考えると新築のほうが皆さん使うにはいいんじゃないかなあっているふうに個人的には思います。

それから 19 ページの 21 億円の中にその音響の設計費が盛り込まれているのかどうかちょっとお聞かせ願いたいです。以上です。

(文化スポーツ振興課長)

1 点目の資料 5 ページの平成 21 年度、25 年度、令和元年度ということで耐震診断を 3 回行っていきます。平成 21 年度に耐震診断を行った理由につきましては、昭和 56 年に建築基準法の法改正があり、当時、国では昭和 56 以前の公共施設については耐震診断をし市民の皆様にお知らせをする。補強が必要なのか、このままでいいのかということで、市民会館だけではなくて市の公共施設全般の耐震診断を行っておりました。その結果が平成 21 年度の市民会館の値となっております。

また、平成 25 年度に診断調査を行った経過がございますが、当時、市庁舎を耐震補強するか新たに建て替えるか、市民会館についても同様ということで検討した経過がございます。そんな中で改めて耐震性能はどの程度か再調査をしたという経過がございます。

今年度につきましては、リノベーションに係る新しい財源もございましたので、現在の建物が耐震補強ができるかどうかも含めて耐震診断を行ったという経過がございます。

また、そのページの Is 値のところ、0.3 未満が倒壊する危険性が高いとなっております。Is 値の結果は、最小値が 0.22、最高値が 1.82 となっております。今回、建物全体でこのようになっておりますが、耐震診断の方法でグリッドでの柱ごとに評価をする形になっておりまして、この 0.22 の値の部分につきましては、ホール棟の客席を箱としてイメージしていただくと、東西方向、南北方向で箱の真ん中あたりの部分が 0.22 というような一番最小値の値となっております。それで震度 5 弱から 5 強の中地震で耐震性能が最も低い部分では被害を受けるものの、建物全体としては倒壊しない範囲という表現かと思えます。建物全体としてとらえた場合、皆様にわかりやすいように表現させていただいたところがございます。

Is 値は耐震基準の技術的な表現でもあり、皆さんにご理解いただけない部分もございましたのでこのような表現をさせていただいたところがございます。

続いて 2 点目の 12 ページのライフサイクルコストの比較のところでございます。

新築であれば費用合計 80.8 億円を 80 年で割り返したものが上段、下段とも 1 億 100 万円となります。

リノベーションにつきましては、30 年の使用期間ということで割り返すものは費用合計としては一般財源負担額ベースで 23.2 億円、全体総事業費で 29.4 億円ということでの割り返しになっています。

それから、音響設備、照明機器設備につきましても、21 億円の中で進めて参りたいと考えております。

(市民 L)

〇〇です。

この図面を見せていただきますと、全体の大きさはサントミュージアムや長野市芸術館のように総合型のような施設ではありませんが、音楽とか演芸とかに施設を特化して、今、子どもが欲しているのは映写室とかバンド練習とか吹奏楽とか全面ガラスのダンス教室。そういうものを第 3 の目で進めていただければ結構ですが、展示室ですとかギャラリーとかというのは、別な形で行政で考えていただければいいじゃないかと思えます。

一番思うのは、偉大な先人が 2 人も出ておりますので、なんか建物自体もちょっとシンボリックな他市町村にないような、中野のこれからのイメージにマッチするようなお考えをぜひ取り入れてもらいたいと思えます。

(くらしと文化部長)

ありがとうございました。シンボリック的なものなど、具体的なものは設計の中で検討して参りたいと思っております。

(市民 B)

設計はいつ頃ですか。

この年度の最後ですか、それとも夏場には設計に入るんですか。設計事務所に渡すまでの責任者っていうのはどなたになるんですか。

要するに多数の意見をまとめて、どういうものを渡すんだというのをどのように判断していくのか。コンクリートでいえば柱の面積が少ないのか、壁の量が足りないのか、そんなことをどうゆう風に考えて設計の段階に入るのか。最終的なまとめ、プロデュースする人はどなたですか。

(くらしと文化部長)

ありがとうございます。

スケジュールにつきましては、先ほどご説明いたしましたが、この 3 月に来年度の設計予算の方を議会にお願いしたいと思っておりますので、そちらの方が議決になりましたら、年度当初早々から設計に入って参りたいという風に思っております。

ます。

それから、その具体的な設計の段階では、今、設計の入札の方法も色々ございますので、例えば設計の段階で様々なご意見を伺いながら進めて参りたいと思っております。

当然、設計者が決まりましたら、市の担当の部署と設計者で様々な話し合いをしながら、その中で皆様のご意見を伺いながら進めて参りたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

(市民B)

強烈な地震が来たときは建物が倒壊するというキャッチフレーズですよ。その時に考えられるのは断面が小さい部分だけですよ。そうすれば当然大きくしなければいけない。中の鉄筋の量は足りるのか足りないのか、そうなればほとんど壊すような段階になってくるわけじゃないですか。どれだけしっかりしても下がしっかりしてないと持たないですよ。その辺を設計事務所に委託する時にきちんと市役所の人たちがまとめあげたのをもっていかないと。出来上がってきたことに意見を聞いて直せる段階じゃないですよ。平面図が決まった時点で皆さんの貴重な意見を聞いて、また直すような言い方をさきほど説明されましたが、図面が上がったときにはもう決定ですよ。

議会に通さなければいけないのもあるかもしれないけれど、こういう場をもうちょっと積み重ねて、実際に演奏者の意見もあろうかと思うし、どうゆう風にして有名な人たちを呼んで仕上げていくのか。資金もいくらでもかけていいのか。そのへんきつとまとまっていないような気もするから、もうちょっと時間をかけたらどうですか、どうせやるなら。

それでここに久石譲さんと書いてありますので、その方ともコンタクトをとって実際に知恵をお借りして、新築した暁には指揮を執っていただく位のそうゆう夢はないでしょうか。

(くらしと文化部長)

色々ありがとうございました。耐震の関係でございますけれども、プロポーザルなどいろいろな方法もございますので、そういった耐震の方法自体もご提案を頂きながら進めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

また、久石譲さんというようなご意見も伺いましたので、そちらの方もこれから進めていく中で検討して参りたいと思っております。

## 5 閉会